

道

～部活が再開し、忙しくなる前に、学習計画をたてよう～



1 学期期末考査が終わりました。

1 学期の期末考査は精一杯、頑張りましたか？

授業や進路学活などでも話しましたが、3年生の成績は1学期から大事です。1学期の成績を2学期で挽回するのはなかなか難しいです。なぜなら、2学期のテスト範囲が広いからです。



「1学期はもう少しできたかも」とちょっとでも思うなら、しっかり夏休みに復習して、2学期に備えましょう。「備えあれば憂いなし（普段から準備をしておけば、いざというとき何も心配がないということ）」です。夏休みに、苦手な科目、苦手な分野を集中的に勉強し、解けるようになりましょう。

テストが返ってきたならば・・・

★テストの点数だけを見て、喜んだり悲観したりするのではなく、どこを間違えたのかを確認し、なんで間違えたのかを考えることが大事です。



➡解きなおして、自分で解けるようにしましょう。そうすれば、『苦手で解けないところ』が『解けるところ』になります。自分で解けなければ、問題集で確認するか、先生に聞きに行きましょう。

★「茨木っ子いま未来手帳」（メモ帳でもかまいません）を用意し、1学期中間テスト、第1回実力テスト、第1回期末テストで、どの教科のどんな問題が解けなかったか、どんなミスをしたのかを記録するようにしましょう。

➡記憶はあいまいです。きちんと記録に残し、テスト前にきちんと確認し、同じ失敗を繰り返さないように！そして、次のテスト（第2回実力テスト：8/31）前に読み返すようにしましょう。

進路希望調査の提出締切日は6/28(月)です。

進路希望調査は出しましたか？

まだ、高校がわからないという人は、夏休みに説明会などに参加して、いろいろ見たり、聞いたりしましょう。また、7月の懇談時に、公立高校ガイド、大阪私立高校紹介dream、京都私立中学・高校ガイドを配布します。公立高校の入試の概要・高校の概要などが載っています。じっくり読んでみてください。



日付	名称	場所
7/20(火)10時～	大阪府公立高校進学フェア	8/1に予定していた「大阪府公立高校進学フェア2022」は中止となり、Web開催となりました。
8/13(金)14(土)15(日)	大阪私立学校展	天満橋 OMM ビル（事前エントリー制）
9/4(土)5(日)	京都私立中学・高校展	みやこめっせ（事前エントリー制）

進路学活(先輩の話を聞く会)を7/5(月)にします。

昨年度は、茨木西高校の坂梨先生に進路講演をしていただきました。今年度は、東中学校の卒業生(先輩)に、進路講演をしてもらう予定です。中学の時、どうやって受験校を決めたのか、いま、どんな高校生活を送っているのかなどを話してもらう予定です。来週、質問アンケートをしますので、その時に聞きたいことがある人は、記入してください。



～今回は、学科について紹介～

<p>普通科</p>	<p>他の学科と比べたとき、特徴がないというのが特徴です。高校では中学よりも教科の内容が細かく分かれていきますが(国語なら現代国語・古文・漢文・演習など)、勉強する教科は中学校に近いです。選択できる授業はそれほど多くなく10~20単位です。 <普通科専門コース制>普通科よりも選択できる専門的な科目が多いのが特徴。 例)北摂つばさ高校(人文ステップアップ、社会文化コミュニケーション、美術工芸表現)。芥川高校(グローバル専門コース)。高槻北高校(教志コース)</p>
<p>専門学科</p>	<p>25単位以上の専門科目を学習するので、普通科の人よりも深い内容を学ぶことができます。大学進学では専門科目を勉強する分だけ不利になるという人もいますが、勉強の内容によっては有利に働くこともあり、一概には言えません。 総合科学科など、早くから理系に決めてしまうと途中で文系に変更することはできません。しかし、選択授業の取り方を工夫することによって、文系の大学に進学する人もいます。工業系などは資格取得のチャンスも多く、専門的な勉強をしている分、就職ではかなり有利で、大学についても推薦入学で有利になることもあります。じっくり考えて決めましょう。</p> <p><文理学科>北野高校、茨木高校、豊中高校、大手前高校 内容的には普通科に近いようです。探求学習を中心に、プレゼンテーションや発表の場が多いのも特徴です。修学旅行先は海外と決まっています、行き先も自分たちで決められるようです。</p> <p><国際文化科>千里高校 英語力向上はもちろん、「異文化理解」の授業や情報機器を活用して国際理解を深める授業などもある。選択授業で英語以外の語学(中国語、韓国語、仏語、独語)が選べ、外国語の活用をめざす。語学研修など、夏休みに海外での研修も受けられる。</p> <p><総合科学科>千里高校 アメリカの先端をいく科学高校のカリキュラムを取り入れた学科。 理数科目の授業数が多く、毎日数学と理科がある。「科学探求」の授業や実験により、分析・検証や発表などの経験を積み、論理的思考を身につける。夏休みにアメリカの大学を訪問するプログラムもある。</p> <p><工業系> 大阪府立の工科高校では、一括募集という形で入学して1年生の時にどの系に進むかを選択し、自分の興味のある勉強を行えます。来年度より、大阪市立の工業高校は、大阪府立に移管します。 例)茨木工科(大学進学専科と工業科の機械系、電気系、環境化学システム系の3つの系に分かれる)。都島工業(機械・機械電気、建築・都市工学、電気電子工学、理数工学)</p>
<p>総合学科</p>	<p>高校で勉強する授業の半分に当たる40~50単位を、総合選択科目と自由選択科目で学びます。専門学科と比べると内容の専門性は低くなりますが、より広い内容の学習ができます。高校ごとになんらかの系列があり、選択した系列の授業を受けます。 例)福井高校(国際コミュニケーション、福祉保育ヒューマニティ、健康スポーツ、芸術ライフ、情報メディア、総合サイエンスの6つの系列)。柴島高校(コミュニティー、グローバル、ヒューマン、ライフ、ネイチャーの5つの系列)。</p>

